

森陽香

みどりご

なにもない匂いのあたらしさ
風はかくれて往来し 紅はあらわに巡る
ささやかな爆発より早く 怖じけた私は逃げ出す
導火線が繋ぐ あちらは すき透る闇
やよい ひそやかな 敷和の室から